

# 高津支部研究だより

2022年 第1号

## 第1回高津支部授業研究会

7月6日（水）に久末小学校にて第1回高津支部授業研究会が行われました。ご多用の中、多くの方々にご参加していただきました。

研究協議では、前半にグループごとに意見交流を行い、後半には全体で共有する時間を設けました。多くの方から意見や感想をいただき、活発な意見交流ができました。話題になったことや意見・感想をまとめました。

### ≪1年生 体づくりの運動遊び 「多様な動きをつくる運動遊び」

体とボールを使ってアニマルランド！≫

授業者 猪頭 将人先生

#### □教師のねらいと実態

授業の道すじ

- ・年間のカリキュラムを組む際に、運動を楽しむための動き・感覚が備わっているか、発達段階に適しているのかを考慮しながら組むことが大切だと考え、前期、中期、後期の3回に分けて行った。また、「用具を操作する運動遊び」を3回に分けて行うことによって1単元で扱う用具が絞られ、指導要領の例示に示されている動きが、遊びを通して身に付きやすいのではないかと考えた。
- ・子供達が学習の中で「やってみたい！なるほど！楽しいな！」と感じながらめあてをもち続けて活動ができるよう、アニマルランドというテーマを設定し、遊びの場を精選した。また、掲示物に遊び方や動きを表す言葉を記載したりすることによってその遊び（動き）を想起しやすくなるようにした。
- ・本単元の3時間目では、ボールを操作する運動遊びの行い方を知り、基本的な動きを身に付けていく。それを踏まえ、本時（4時間目）では、前時で行った動きを基に、子供達が自分で遊びたい場を選び、遊んでいるうちに様々な動きを身に付けていけるようにした。

#### 研究協議

○感想や意見 ☆質問 ◎質問に対する回答

○子供たちがどの活動の場でも夢中になって運動遊びに取り組んでいた。

○何をやるのかが明確だった。⇒子供たちが主体的に取り組んでいた。

○遊びの難易度に差をつけたりボールチェンジタイムをしたりすると、

子供達も新たなめあてが考えられたのではないかと。

☆ボールがたくさん種類があって楽しそうだった。子供が選ぶ際どんなやり取りがあったか？

◎前時に扱いづらいボールも含めてあえて色々なボールを触らせてきた。

前時で経験したからこそ、どんなボールがよいか子供達もわかっていた。

○自分が授業を行う時は教え込みになってしまう。問い返しの仕方が勉強になった。



☆人数の偏りが出たが、一部の場が人気だったからなのか？それとも、魅力を感じない場があったからなのか？

◎選ぶ段階になったときに偏るのは想定していた。子供達が没頭して遊ぶ姿を大切にしていた。子供達は、「やりたい」という気持ちをもって場を選んでいたので感じている。

☆それぞれの場のねらった動きは？鳥さんのえさやりの場で高く上げることを意図していたのか？それとも、捕ることを意図していたのか？

◎安全面を考え、動かずに上に投げ捕ることを考えていた。

☆子供たちが場を選んで達成感を感じる時間。この時間で教師の価値付けする言葉かけは何が良かったのか？

◎半分動きを教えること。そして、半分が問い返し。ただ、動きについてはちゃんと教えなきゃいけないと考えていた。

☆今日の授業で、もっとこうしたらよかったことは？

◎価値づけと関わり方。もっといい声かけができたのではないかな。

○価値づけがとても大事だと感じた。先生がいいなと思った動きを紹介し、全体にどんどん広げていく様子が見られてよかった。

**指導講評 講師：上谷 圭 先生（川崎市立小学校体育研究会助言者、川崎市立宮崎台小学校総括教諭）**

- 多様な動きをつくる運動遊び、特に用具を操作する運動遊びはやるのがたくさんある。1年間でやっていかななくてはいけないので、動きを精選していくことが大切。
- 遊びの中で自然と身に付けることが大切。つまり、場がとても重要になる。教師が動きを見せて真似させることで、友達の姿を通して動きが広がっていく。遊びの中で「楽しい・できた」ができるようにすることが大切。
- 本時目標が大切。この時間で何を身に付けさせたいのか。遊びを選んで活動することは十分できていた。本時目標を意識して子供達も活動できていた。
- 導入が丁寧だった。安全面や遊び方を丁寧にしたことによって、よい活動につながったのではないかな。
- 動きはある程度はできていた。動きのこつをもう少し共有（可視化）することでさらに動きが高まるようになる。
- 場に偏りが出たのは、遊びに魅力がなかったから。魅力がなくなってしまう理由は、簡単すぎること。関心意欲を持続させるために簡単すぎず、難すぎず「もう少しでできる」というところを考えられたらよかった。
- 偏りが出た時のことを想定することが大切。安全面のことを考えると、その場を広げることが大事だったのではないかな。
- 教師の関わり・言葉かけについて、具体的に何が良かったのか伝えられるとよい。わざと大きい声で言うと子供が真似するようになる。
- 集合・振り返りについては、動きのこつや遊び方の工夫を広げられるような言葉かけをするとよい。
- よい動きを先生が分かっていないと価値づけられない。よい動きをどう捉えているのか整理しておくとうい。
- ボールの選択、場によっては向き不向きがあるので、声をかけることが大切。
- 友達のよい動きや遊び方の工夫を今回は評価をしないとしたことについてはよいと思うが、子どもの実態からすると指導することはしてもよいのでは。
- テーマ設定良かった。年間通して同じテーマでやるのもよい。